

じん肺患者の死 相次ぐ

じん肺会だけで今年6人

今年にはいつから、じん肺患者の死が相次いでいて、三池じん肺患者の会の会員たちを暗く不安が包みこんでいる。こんなことになった人は城戸正一さん(76歳)で、住まいは荒尾市一紡区。死去は十四日午前十時過ぎ。

去る十日に、同じ荒尾市の川登井川口居住の黒田光雄さんが死したばかり。

城戸さんで、三池じん肺患者の会の会員だけで、すでに今年六人も人が息絶えていった。一方、不知火の友会の方でも死者を出している。聞くと、じん肺患者の死は、大牟田だけでも十数人をかぞえよう。

チエーンソーを一掃

全国で 山林労働者の勝利

山林労働者を次々に振動病に追いやるものとして恐れられてきたチエーンソーが、ついに九州管内から一掃されることになる、よろこばれている。

チエーンソー一掃のことを、毎日新聞は八日の記事で伝えた。長

い間全林野労組が強く反対しつづけてきたことだけに、これは大きな勝利と見なければならぬ。

同時に、このことは労災・公害・職業病の撲滅をめざしたたかたが七日明らかになった。全国で初めて、たかたの一大前進を告げたわけ、大きな成果だ。

次は、その記事の全文

CO患者の検診を

組合、労働省と交渉

三池労組はこのほど、すべてのCO患者に対して行う必要のある精密検査の問題について、労働省と交渉を行った。その結果、労働省としてもできるだけ三池労組の要求にこたえるように、たかたに検討することになった。

交渉は十六日、三池労組の古賀組合長が労働省の担当係官との間でいった。

入る。

九州では雪が少く、雇用期間が長いため振動病の発生が多く、丸太伐採運搬作業員の半数が職業病に認定されている。

自然林の作業場でも新しい機械を導入するが、残った天

三、胃のエクセス線写真による検査

四、腰部のエクセス線写真による検査

五、基礎代謝率検査

六、循環器系検査

七、血液の生化学的検査

周知のように、CO患者の間から急激な症状悪化のために再入院する人が増大し、三池労組関係の患者だけでなく、早や十五人も命が失われた。新労組関係の死者数はひそかに加えられている。にしても、それを加えれば、患者の死亡数はおそく三十五、四十

韓国被爆者ベンさんからお礼状

御恩返しがしたい

せめて平和のために……

この度、私の長崎原爆病院においての病氣治療に当たりましては、なみなみなぬお配慮を賜わり、何とお礼の言葉をもちます。

一月二十三日入院以来、長崎原爆病院の先生をはじめ、看護婦さん、手厚い治療と看護、また大牟田、長崎をはじめ、日本各地からの暖いはげましと支援につつまれて心ゆくまで療養生活に専念することができました。

その結果、すっかり健康を回復し、三十年ぶりに被爆前の元気な姿にかえり、三月二十日無事退院し、四月三日帰国いたしました。

また、三月二十三日には戦後三十年、片ときも忘れることなく、夢にまで見つけてきた生まれ故郷、小島・草津町につれていっていただき、小学校時代の恩師、ならびに同級生、近傍の人たちと三十年ぶりの対面をすることができました。

私はまず第一に、今回日本の皆様が私にさせてくださったことに厚意を、広く韓国の同胞に知らせ

人々をだるまいと見られている。以上のような事実にもかかわらず、CO患者の多くが今日では一切の公傷取扱いを打ち切られ、その結果この種の検診もしないまま放ったらかされている。ここから全量検診は、すでに早くから強いのぞまれていたことで、また会社も率先して行うべき内容のものである。大きく期待しよう。

第二に、日本の皆様とともに、戦争のない平和な社会をきよくために力を尽くすことを約束します。

そして第三に、大韓民国と日本の国民が永久に、仲の良い友達でありますために、精一杯の努力をすることを誓います。

最後に、皆様の幾久しきご多幸を、はるかソウルの地からお祈り申し上げ、ご挨拶のことばをいたします。

一九七五年四月五日

ベン・蓮玉さんといえは、申しあげるまでもなく、さきごろ、原爆病の治療にやってきました、一人の韓国被爆女性です。

ベンさんを招いたのは、朝鮮人被爆者ベンさんの原爆病院での治療を支援させる実行委員会、で、ベンさんは一月二十一日飛行機で福岡の板付に飛来。二十三日には早くも日赤長崎病院入院。

治療の結果、ほとんど治められた。四月三日に帰国されたのです。

ベンさんの現住所は「韓国ソウル市城東区広津洞二七五」です。

心からお礼を祈ります。

恐ろし、そのふけこみ

見るかげもない木下さん

高令化してゆくにつれ、CO患者という攻撃の際、そんな木下さんで再発病、衰弱などがこのころきわだっており、関係者を心配させ、またすべてのCO患者を暗く不安な思いにかり立てている。

谷崎さんは語る。

「今は、ご覧の通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切

9.28CO患者の木下さん。だきかかえているものは三池闘争記念ホッパ―パイプ。その頃木下さんは職場分会の闘争委員長。パイプには、たかたか職場なにか一人ひとりの名前もしてされており何よりの宝。



「今、この通りです。ぬれ」

「そして、マンマインヤンのご」

「木下さんは今年六十歳。大牟田市大字宮崎二六〇二二の自宅でもつとめてきた人で、やかましかったのです。」

「事実その通りで、もともと木下さんは本所の建設で働いていたところを、三川鉱に仕立てられて、本所で働くことは第二十六分会の中央委員として活躍。とくに三池闘争のときは分会の闘争委員長として、ホッパ―防衛のため、きびしい指揮をとった人。

「個人生活面では、喜多流の謡ひのひびきは、人を知るすべての者があきれた返っている。言葉さえなかなかに聞きとれない。

「昨年、九・二八CO患者に加えられた、政府の労災補償打ち切